

原油価格高騰に伴う プラパレ価格上昇の経緯と その仕組み

～なぜ・またの声にお答えいたします～

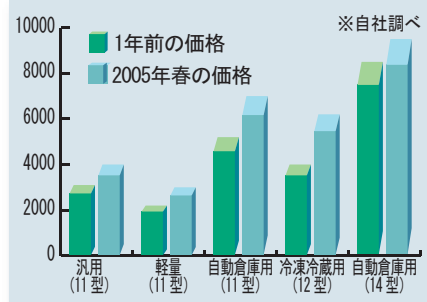
11型、12型、14型プラパレ型式別単価上昇	1
プラスチックパレットの生産量・価格の推移	1
原油～石油製品～プラパレの価格情勢	2
原油価格上昇の原因	2
プラスチックパレットができるまで	2
ナフサ 需要・供給と価格の関係	3
ポリプロピレン(PP)とポリエチレン(PE)の違い	3
素材(PP,PE)の現在の価格及び推移	4
PP,PEの生産状況	4



プラパレはPP、PEという原料の違いにより製品性質が変わりますので、使用する際に留意する必要があります。また木製パレットに比べプラパレの歴史は短いですが、その生産量は右肩上がり増加しており、物流業界において欠かせないものになっています。このような状況を踏まえ、upr ニュース2号では原油・石油製品の価格動向の最新情報やプラパレに関する基礎知識を取り上げました。皆様のお役に立てれば幸いです。

11型、12型、14型プラパレ型式別単価上昇 物流費に転嫁できるのか？

■プラスチックパレット市場価格



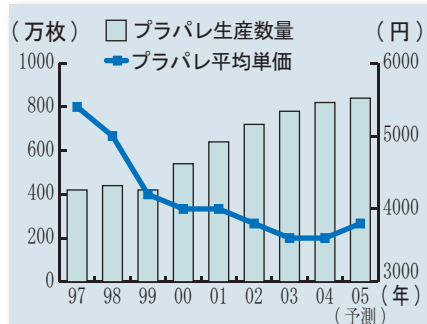
石油化学各社は原油高を受け、5度目値上げを行おうとしている。現在の物流業界での木製パレットから樹脂パレットへ変わる企業が増える中で、コストが高くなることは非常に厳しい現状である。

5度目の値上げ幅などは具体的には出て来ないがグラフの通り1年前から見て全体で約30%も上がっており特に冷凍冷蔵業界向けのPEを原料と

したパレットは55%も上がっている。同業界では本来ならば滑りやすいため作業性が悪く使いたくないと言っていたが食品がメインなため荷主からの要望があり利用しているのが現状でありコストがここまで上がればプラパレを要望される顧客に対して保管料または、作業料等に転嫁しないと非常に厳しいであろう。

(福岡営業所 村山泰輝)

プラスチックパレットの生産量・価格の推移 プラパレ化着実に進んでいます



出典：社団法人 日本パレット協会

プラスチックパレットの生産数量は増加傾向にあり今後も増加していく見込みである。衛生面や検疫規制などの問題から食品業界向けパレットや輸出入軽量パレットのプラパレ化が進んでいるのが主な要因と思われる。価格面では安価な軽量パレットの登場と普及に伴ない平均単価としてはダウン傾向にある。しかしながら、昨年からの原油価格の高騰により個々のパレット単価は3割から5割

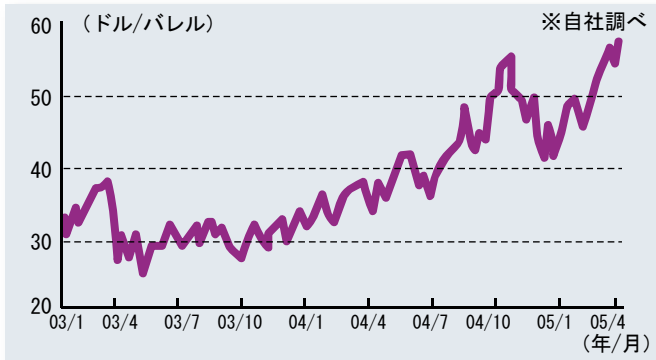
程度上昇しており、今後も続くと思われる。(大阪営業所 清水重雄)



原油高は収束しつつあるが、国内の軽油価格は5月になっても上昇へ

原油～石油製品～プラパレの価格情勢 更に上昇するのか？

■ニューヨーク原油先物価格の推移



最近のNY原油先物価格WTIの急騰は一息ついた模様ですが、依然として高値圏で推移しています。これは投機的資金の流入による側面が強い30ドル台に落ち着くという冷静な見方がある半面、中国やインドの強い需要が下支えになり原油高は構造的に続くという見方も根強くあります。既存油田の生産能力に更なる増産余地が少ないのではないかと、という見方も拍車をかけています。このような原油高に連動して石油製品も年初より数回値上がりしていますが、今後更なる値上げも避けられそうにない情勢にあり、PPやPEを原料とするプラスチックパレットもこの影響を避けることはできません。

(経営企画本部 福永克宏)

原油価格上昇の原因 上昇は続くのか？

過去にも原油価格が高騰したことは何回かあったがいずれも第1次・第2次石油危機、湾岸戦争、イラク戦争勃発などの『石油供給が減った』原因がはっきりとしていた。しかし今回は特別に供給がなくなったわけではないのになぜ原油価格高騰が続くのか？

調査した結果、次の6項目があげられた。増大する世界の需要、米国ガソリン需要とガソリン価格高騰、世界の石油供給余力の低下、不安定化する中東情勢、ユコス事件、投機的取引の増大とリスクプレミアムの発生。世界的に原油価格の高騰が続いている中

で世界規模での石油需給バランスが原油価格の原因だと言われているが、需給関係はもはや要因の一つであって直接の原因では無いようだ。

その一方で不安定化する中東情勢、ユコス事件等の政治的要素が色濃く関係し益々問題を複雑化していることは間違いない。各メーカーの対応も“ナフサ高騰に伴う原料値上げ”との文面が多く、はっきりとした原因まで調査出来ていないというのが、本音ではないだろうか。

しかし日本は輸入原油への依存率が高く、原油価格の上昇は経済に直接

影響を与えることは間違いない。他国でも同様の影響が考えられ特に中国や東アジア諸国の経済成長を減速させる懸念がある。

(大阪営業所 渡壁敏)



プラスチックパレットができるまで プラスチックコンテナ・PETボトルもほぼ同じ

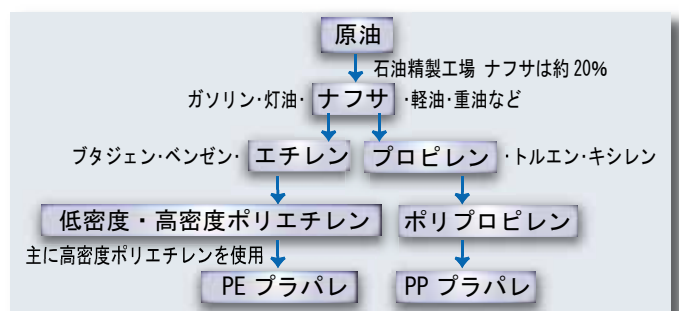
最近、植物性のプラスチックの研究が話題だが、現段階の日本においては、ほぼ100%右の図の工程でプラスチックパレットは生産されている。

石油化学誘導品(PP・PEほか)になるまでの各工程は、全て大きなプラントを持つ企業で生産されている。

企業体質強化の為、この10年間に合併・統合を繰り返し、各14社(1994年)がPP4社・PE8社となった。

これも価格急上昇の要因の一つだと思われる。

(南九州営業所 村尾修司)





Upr Ube Pallet Rental Leasing

選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切開く

原油の先物は一時の50ドル後半から、40ドル後半に値下がりしているが、国内の軽油価格は上昇が止まらない。

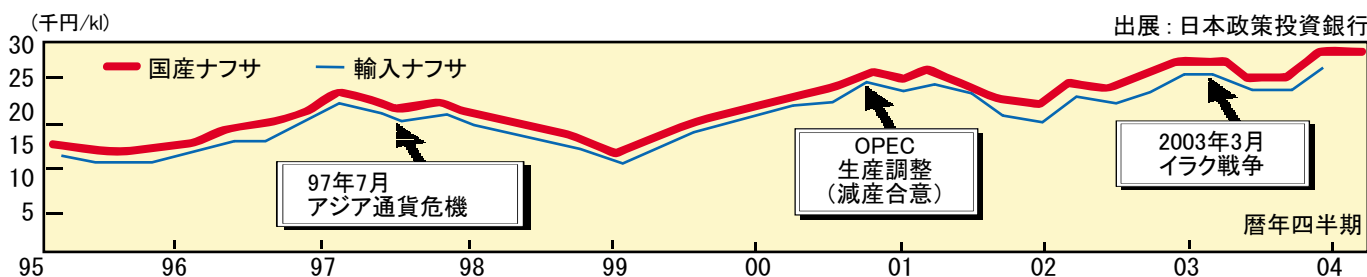
一部でガソリンなど比較的価格改定が進んでいる油種ではねさりの動きも出ているが、軽油価格に関しては特にローリー買いを中心に5月も値上がり傾向にあるようだ。

全日本トラック協会がまとめた4月の価格はローリー買いが前月比3円97銭高の76円95銭となった。

出展：カーゴニュース

ナフサ 需要・供給と価格の関係 素材産業で見るナフサ価格上昇の実情

■ナフサ価格



現状の化学産業の価格転嫁は、原油→ナフサ→エチレン等→樹脂→プラスチック製品というような形で進む。基本的には価格転嫁は浸透してきているが、最終用途によって多少のバラツキがある。石化原料のナフサ価格上昇は、原油価格高騰によるところが大きい。大手化学メーカーの営業利益推移をみると、これまでは交易条件(価格差)によるマイナスを、数量増やリストラなどにより補ってきた。しかし、リストラなどによる収益改善効果も一段落してきたため、今後大手メーカーはナフサ価格の影響度低下や販売価格上昇による改善を狙っている。



(新規事業本部 鈴木満弘)

■総合化学大手4社の営業利益増減要因(単位:億円)

	00-01	01-02	02-03	03-04 予想
価格差	▲ 468	▲ 732	▲ 673	
数量	▲ 693	1016	800	
固定費他	62	634	▲ 165	
計		918	▲ 38	684
ナフサ価格上昇率	-6.3%	8.6%	7.2%	8.2%

このナフサ価格上昇率(他の条件を一定)とすると、2004年度は化学業界全体で、約1,000億円のコスト上昇要因となる。

ポリプロピレン(PP)とポリエチレン(PE)の違い PPとPEの違いは？

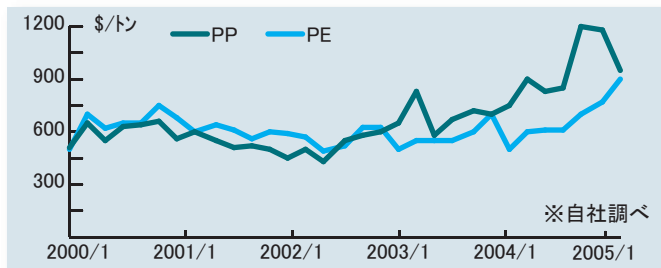
項目 種類	比重	耐水性	耐熱性	低温	有毒ガス	主な製品
PP	0.91	優れている	強い (100度~140度)	弱い (-5度以下)	一切発しない	① 食品包装 (フィルム、シートなど) ② 食品容器 (弁当箱など) ③ ブロー製品 (食用油など) ④ 家庭用電気製品 (テレビ、ビデオなど) 
PE	0.92	優れている	弱い	強い	低温焼却の場合発する	① 容器のふた (マヨネーズ、ケチャップなど) ② 医療用容器 (点眼、アンプルなど) ③ 容器フィルム (牛乳、ジュースなど) ④ スーパー等の買い物袋 

※「比重」に関しては、一般的数値によるものとする

(東京営業所 石川雄一、新規事業本部 鈴木満弘)

素材 (PP,PE) の現在の価格及び推移

そろそろ上限か？今年中は高値安定予想



両素材とも昨年の4回の値上げで、110円/kg(04年2月)から150円/kg(04年12月)へ。さらに素材メーカーは第5次値上げを打出し、160円/kg(05年5月)で需要家(成形メーカー・フィルムメーカー)と交渉段階にある。尚、PP・PEはほぼ同一金額。

尚、価格は一般市況価格で、値下げ額については需要家ごとに10円～15円/kgと多少の開きがある。

(南九州営業所 村尾修司)

PP,PEの生産状況

新たな参入企業もなく、ほぼ横ばい状況

(2003年の実績)合成樹脂の生産合計13,619,634トン(100%)

※2004年と同じ

低密度ポリエチレン・・・1,995,931トン(14.7%)

高密度ポリエチレン・・・1,169,347トン(8.6%)

ポリプロピレン・・・2,754,055トン(20.2%)

* 冷凍用プラパレの主原料

* 一般プラパレの主原料

(南九州営業所 村尾修司)



編集メンバー



新規事業本部 鈴木満弘
今回掲載した記事の情報収集は知識不足の私にとって
良き勉強の場となりました。



東京営業所 石川雄一
PP、PE相違点を担当致しました。
少しでも何かのご参考になれば幸いです。



大阪営業所 清水重雄
このuprニュースが発刊される頃には原油価格が下がっていることを祈ります。



大阪営業所 渡壁敏
私の好きな言葉は“躍進”常に新しいことに挑戦し前進していきます。



福岡営業所 村山泰輝
現在の状況を確認して戴くために今回は素材に関する情報を盛り込んでおります。



南九州営業所 村尾修司
プラパレの様に、子供の成績(私の方が深刻?)が上昇すればいいんですが・・・。



経営企画本部 福永克宏
顔写真と署名記事が載るなんて余程著名な記者でない
と不可能！ 嬉し恥ずかし



選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切開く

ウベパレットレンタルリーシング株式会社

■宇部本社 〒759-0134 山口県宇部市大字善和字川東541-12

Tel : (0836) 62-1112 Fax : (0836) 62-1417

■東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-4

リクルート新橋スタジオビル3F

Tel : (03) 3435-9141 Fax : (03) 3435-9149

■営業所 東京・名古屋・大阪・広島・山口・

福岡・南九州

Ube Pallet Rental Leasing Co.,Ltd. URL:http://www.upr-net.co.jp